



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年10月31日

上場会社名 フジッコ株式会社

上場取引所 東

コード番号 2908 URL <https://www.fujicco.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 福井 正一

問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員経営企画本部長 (氏名) 尾西 輝昭 TEL 078-303-5921

四半期報告書提出予定日 2023年11月7日

配当支払開始予定日 2023年12月8日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	27,466	4.4	660	23.7	838	18.8	579	6.9
2023年3月期第2四半期	26,302	△3.5	534	△59.5	705	△52.6	542	△56.6

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 978百万円 (88.3%) 2023年3月期第2四半期 519百万円 (△46.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	20.36	—
2023年3月期第2四半期	18.82	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	80,207	68,839	85.8
2023年3月期	78,862	68,514	86.9

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 68,839百万円 2023年3月期 68,514百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	23.00	—	23.00	46.00
2024年3月期	—	23.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	23.00	46.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	56,500	4.8	1,800	44.0	2,050	31.6	1,430	1.7	50.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	30,050,759株	2023年3月期	30,050,759株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	1,585,404株	2023年3月期	1,586,964株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	28,464,801株	2023年3月期2Q	28,813,364株

(注) 期末自己株式数には、「株式給付信託(J-E S O P)導入において設定した株式会社日本カストディ銀行(信託Eロ)」が保有する当社株式数が含まれております。また、期中平均株式数の計算において控除する自己株式には、「株式給付信託(J-E S O P)導入において設定した株式会社日本カストディ銀行(信託Eロ)」が保有する当社株式の期中平均株式数が含まれております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
3. 補足情報	10
(1) 販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、暮らしや企業活動の制限が解除され正常化へ進む動きが見られましたが、物価上昇や世界的な金融引締めといった景気の下振れリスクを抱えたまま推移し、先行き不透明な状況が続きました。

食品業界におきましては、物価上昇により消費者の生活防衛意識が高まる中、厳しい経営の舵取りが求められました。

このような環境の中、当グループにおきましては、経営計画に基づき、値上げした製品への消費者支持が落ちないよう、製品価値を訴求するプロモーションや販売の強化に取り組みました。

販売面では、昆布製品と惣菜製品が伸長し、売上高は274億66百万円（前年同四半期比4.4%増）となりました。

利益面では、原材料やエネルギーコストは依然として上昇基調にありますが、広告宣伝投資に見合う売上高を実現し、固定費を吸収することで、営業利益は6億60百万円（前年同四半期比23.7%増）、経常利益は8億38百万円（前年同四半期比18.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億79百万円（前年同四半期比6.9%増）となりました。

製品分類別の販売状況は、次のとおりであります。

惣菜製品は、前年実績を上回りました。日配惣菜は、フジッコNEWデリカ株式会社が第1四半期に続き取引先開拓を進めました。中華惣菜は、株式会社フーズパレットが展開する四陸ブランドのFROZEN「海老のチリソース」がジャパン・フード・セレクションでグランプリを受賞しました。包装惣菜は、おいしさはもちろん、買い置きできてそのまま食卓に出せる「おぼんざい小鉢」シリーズが牽引しました。

昆布製品は、主力のカップ佃煮「ふじっ子煮」が好調に推移し、前年実績を上回りました。「ふじっ子煮」は、白ご飯との相性の良さを訴求するTVCM（ごはんパクパク応援団篇）を全国の主要都市で放映したほか、需要創造の取り組みとして、「COOKPAD(クックパッド)」と共同開発したレシピ（なすとごま昆布のピリ辛おつまみ等）をパッケージで訴求しました。

豆製品は、煮豆市場のダウントレンドを蒸し豆でカバーし、前年実績を上回りました。煮豆は、9月に黒豆へのココア添付企画を実施し、ティータイムの食シーンとして黒豆ココアを提案しました。また、普段煮豆と接点のないユーザー獲得を狙う、10月からのポケモンパッケージ企画の準備を進めました。

ヨーグルト製品は、量販店で販売する主力の「カスピ海ヨーグルト」が堅調に推移し、「まるごとSOYカスピ海ヨーグルト」の育成も進んでおりますが、通信販売で扱うサプリメント関係がコロナ禍からの反動で苦戦し、全体では前年実績を下回りました。

デザート製品は、前年並みで推移しました。9月より秋冬限定の「フルーツセラピー 温州みかん」を発売しております。

（2）財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ13億44百万円増加し、802億7百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ13億83百万円増加し、346億94百万円となりました。これは主に、売上高の増加と9月末の金融機関の休日に伴い売掛金が増加したこと等によるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ39百万円減少し、455億13百万円となりました。これは、保有する投資有価証券の時価評価が増加する一方で、有形固定資産の減価償却が進んだこと等によるものです。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ10億18百万円増加し、94億26百万円となりました。これは主に、未払法人税等の増加や原料購入の季節性に伴う買掛金の増加等によるものです。

固定負債は、前連結会計年度末と同水準の19億41百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ3億25百万円増加し、688億39百万円となりました。

これらの結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の86.9%から85.8%となりました。

（キャッシュ・フローについて）

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ8億2百万円減少し、124億72百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益を8億49百万円計上し、加算調整（キャッシュの増加）として減価償却費17億1百万円、仕入債務の増加3億96百万円、減算調整（キャッシュの減少）として売上債権の増加17億57百万円等があり、11億33百万円の収入（前年同四半期は17億24百万円の収入）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産及び無形固定資産の取得等により、12億80百万円の支出（前年同四半期は1億84百万円の支出）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払等により、6億54百万円の支出（前年同四半期は17億91百万円の支出）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年10月23日に、主力の佃煮が好調に推移していることから、2024年3月期第2四半期の連結業績予想を修正する「業績予想の修正に関するお知らせ」を公表いたしました。第3四半期以降もブランド価値の高い佃煮の好調を維持し利益を確保してまいります。原材料価格の上昇が想定を上回りコストアップとなるため、これらが相殺され2024年3月期の連結業績予想は前回予想（2023年7月28日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」）の通り見込んでおります。

なお、詳細については、2023年10月23日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,275	12,472
売掛金	9,003	10,761
商品及び製品	1,380	1,510
仕掛品	238	283
原材料及び貯蔵品	8,979	9,089
その他	434	580
貸倒引当金	△1	△2
流動資産合計	33,310	34,694
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	41,968	42,062
減価償却累計額	△25,601	△26,097
建物及び構築物 (純額)	16,366	15,964
機械装置及び運搬具	32,170	32,459
減価償却累計額	△22,224	△22,994
機械装置及び運搬具 (純額)	9,945	9,464
工具、器具及び備品	2,238	2,310
減価償却累計額	△1,646	△1,692
工具、器具及び備品 (純額)	591	618
土地	12,769	12,769
建設仮勘定	49	74
有形固定資産合計	39,723	38,891
無形固定資産	567	731
投資その他の資産		
投資有価証券	3,432	4,035
繰延税金資産	583	596
その他	1,250	1,264
貸倒引当金	△5	△5
投資その他の資産合計	5,261	5,890
固定資産合計	45,552	45,513
資産合計	78,862	80,207

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,962	4,304
未払金	3,292	3,325
未払法人税等	40	499
未払消費税等	92	191
賞与引当金	464	461
預り金	73	160
その他	481	482
流動負債合計	8,407	9,426
固定負債		
退職給付に係る負債	1,121	1,130
従業員株式給付引当金	33	29
その他	786	782
固定負債合計	1,940	1,941
負債合計	10,348	11,367
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,566	6,566
資本剰余金	1,006	1,006
利益剰余金	62,948	62,871
自己株式	△3,058	△3,054
株主資本合計	67,462	67,389
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,053	1,448
退職給付に係る調整累計額	△2	1
その他の包括利益累計額合計	1,051	1,450
純資産合計	68,514	68,839
負債純資産合計	78,862	80,207

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位: 百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	26,302	27,466
売上原価	18,356	19,215
売上総利益	7,946	8,250
販売費及び一般管理費	7,412	7,589
営業利益	534	660
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	105	115
受取賃貸料	31	28
売電収入	31	37
その他	25	29
営業外収益合計	194	210
営業外費用		
支払利息	0	0
賃貸費用	11	16
売電費用	10	16
その他	1	0
営業外費用合計	22	33
経常利益	705	838
特別利益		
固定資産売却益	138	0
投資有価証券売却益	126	—
国庫補助金等収入	42	22
特別利益合計	306	23
特別損失		
固定資産処分損	45	12
投資有価証券売却損	32	—
減損損失	137	—
特別損失合計	215	12
税金等調整前四半期純利益	797	849
法人税、住民税及び事業税	456	457
法人税等調整額	△201	△187
法人税等合計	255	269
四半期純利益	542	579
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	542	579

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	542	579
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△31	395
退職給付に係る調整額	8	3
その他の包括利益合計	△22	398
四半期包括利益	519	978
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	519	978
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	797	849
減価償却費	1,807	1,701
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	0	0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△29	△3
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	28	15
受取利息及び受取配当金	△105	△115
支払利息	0	0
固定資産処分損益 (△は益)	△93	11
減損損失	137	—
投資有価証券売却損益 (△は益)	△93	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△458	△1,757
棚卸資産の増減額 (△は増加)	120	△283
仕入債務の増減額 (△は減少)	343	396
未払金の増減額 (△は減少)	284	191
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△149	107
預り金の増減額 (△は減少)	0	86
その他	△410	△205
小計	2,179	994
利息及び配当金の受取額	105	115
利息の支払額	△0	△0
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△559	23
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,724	1,133
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△739	△967
有形固定資産の売却による収入	240	0
無形固定資産の取得による支出	△63	△244
投資有価証券の取得による支出	△9	△34
投資有価証券の売却による収入	427	0
その他	△40	△35
投資活動によるキャッシュ・フロー	△184	△1,280
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△1,119	△0
配当金の支払額	△671	△654
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,791	△654
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△251	△802
現金及び現金同等物の期首残高	12,778	13,275
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,526	12,472

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)

当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
該当事項はありません。

3. 補足情報

(1) 販売の状況

(単位：百万円)

製品情報	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)		増減額	(参考) 前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	
	金額	構成比	金額	構成比		金額	構成比
惣菜製品	9,158	34.8%	9,672	35.2%	513	18,625	34.5%
昆布製品	6,885	26.2%	7,549	27.5%	664	14,422	26.8%
豆製品	4,356	16.5%	4,365	15.9%	8	9,969	18.5%
ヨーグルト製品	3,332	12.7%	3,313	12.1%	△18	6,430	11.9%
デザート製品	1,604	6.1%	1,597	5.8%	△7	2,578	4.8%
その他製品	964	3.7%	966	3.5%	2	1,890	3.5%
合計	26,302	100.0%	27,466	100.0%	1,163	53,915	100.0%

(注) 増減額は、当第2四半期連結累計期間と前第2四半期連結累計期間との比較で表示しております。